

那須の歴史
再発見!

那須町と 近現代の人々

vol.36



平山力男 (1917-1972)

12月号は、菱喰内出身の政治家・江戸川用水土地改良区理事長として、りんどう湖建設・観光地化に尽力した平山力男を紹介します。

平山は、大正6年5月に平山寛の長男として菱喰内に生まれました。昭和30年4月、那須町町議会議員に当選すると以後5期連続当選し、総務委員長、民生文教委員長を務めました。また、8・9代目那須町議会議長となり那須町議会の創成期の議員として活躍しました。

また平山は、昭和32年に江戸川用水土地改良区2代目理事長となり、江戸川用水温水溜池(通称・りんどう湖)建設と溜池の観光地化に尽力しました。江戸川用水土地改良区は昭和29年に設立された土地改良区で、菱喰内、桜久保、後藤橋、弓落、渡久保、池田、

山梨子、上瀬縫、廻り谷などの地区からなります。この地域の土壌は保水力が弱く、冷害などが多発する地域であったことから、温水溜池(農業用ダム)を建設することによる、水田59haの灌漑用水・21haの開田用水の確保を計画しました。昭和37年に工事が着工され、同39年に江戸川温水溜池が完成し、以後開田が相次ぎました。

一方で、完成前からこの温水溜池を観光活用することを考えていたビューホテルの内源典は、平山らの同意を得て昭和39年に那須興業株式会社を設立し、翌40年にりんどう湖ファミリー牧場が営業を開始しました。ここに農業用ダムと観光施設の両輪をもつ温水溜池が完成し、現在も「りんどう湖」は那須町の農業・観光を支える重要な場となっています。

平山は江戸川用水温水溜池が農業と観光の両輪で回り始めた昭和47年に亡くなります。現在りんどう湖ファミリー牧場内には、「平山力男氏之像」がひっそりとたたずんでいます。



「平山力男氏之像」除幕式
(昭和52年)

す。レリーフは旧塩原町出身の彫刻家・佐藤健次郎氏(守子の郷・那須塩原駅にも作品がある)によるもので、この事業に尽力した平山の事蹟が記されています。
りんどう湖を訪れた際には、一度この像をご覧いただいてから、楽しいひと時をお過ごしください。
▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007

かつこう

1年の間で太陽の出ている時間が最も短くなる日を冬至といいます。冬至が近づくころ、我が家では「ゆず湯にどうぞ」と大量のユズをいただくことがあります。もちろん、ゆず湯にもしますが、大半は、はちみつ漬けにして食べます。子どもの頃、祖母や母が、この時期になると必ず作ってくれるはちみつ漬け(当時は砂糖漬けで

した)が大好きで、際限なく食べ続けていたことを思い出します▼薄くスライスしたユズとリンゴを交互に器に並べ、たっぷりののはちみつをかけます。冷蔵庫で寝かせ、水分が出て、しんなりしたら食べ頃です。漬け初めのリンゴのシャリッとした食感も、じつくりと漬け込んだトロツとした食感も、ユズ独特の爽やかな香りや苦みと相まって、くせになる逸品です▼冬至の日に「ん」の付くものを食べると運がつくといわれており、な

んきん(かぼちゃ)・れんこん・ぎんなん・にんじん・きんかん・かんでん・うんどん(うどん)の七種が「冬至の七草」と呼ばれています。特にかぼちゃは長期保存ができる上、抗酸化作用や免疫活性化作用のあるβ-カロテンが豊富に含まれています▼今年の冬至は12月21日です。ゆず湯に入って体の芯からポカポカに温まり、肌をしっとり、ツルツルにして、冬至の七草を食べ、風邪をひかず、寒い冬を乗り越えたいものです。

こんにちは

赤ちゃん



令和6年5月生まれ

まるやま

あまね

丸山

周くん

あまねくんは...

いつもニコニコあまねくん♪

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは企画政策課広報広聴係(☎72-6935)まで。

町の世帯と人口

(11月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

・世帯数 10,811 世帯 (- 7)
・人口 23,710 人 (- 45)
男 11,837 人 (- 16)
女 11,873 人 (- 29)

出生 2 人 (- 4)
死亡 38 人 (+ 4)
転入 77 人 (+ 20)
転出 81 人 (+ 13)
その他 5 人減

広報那須がスマートフォンなどで読むことができます



マチイロ

